

デジタルハリウッド大学の研究紀要『DHU JOURNAL Vol.10 2023』をお届けする。この研究紀要は、デジタルコンテンツ領域を中心としたさまざまな学術的課題に対して、理論と実務を架橋する高度な研究活動の発表の場として発刊され、記念すべき10年目となる。

試みとして、英語による国際版『DHU INTERNATIONAL JOURNAL』を分冊化することにした。エディターを山崎敦子特命教授にお引き受けいただいた。まだまだ物量が足りないが、本学の心意気を示すということで始めてみたので、お楽しみいただきたい。

引き続き、予め編集方針として、これまでの研究教育活動の成果をまとめた「これまでのまとめ」と、他では受け入れられにくいような先端的で萌芽的なテーマを論考した「未来への挑戦」とをふたつのテーマとして掲げ、投稿を募った。本学の教員、関係者、大学院を修了した研究員、現役の大学院生らから、バランス良く投稿があった。

しかしながら、不安定な世情は続いており、そのせいにはいけないかもしれないが、残念ながらまたしても、日本語版では種別が論文の採録を出すことができなかった。またの機会に挽回するというので、ご容赦いただきたい。

今年度から、大学院では、英語による論文作成や研究発表を行うことについての特別講義も開設した。また、「アカデミックライティング」では、引き続き論文の書き方を教えている。この研究紀要が発刊されるタイミングで開催される「研究紀要論文発表会」で、その成果をご紹介できると思う。

繰り返しになるが、これをご覧の方々には、本学関係者として、あるいは共同研究者や協力支援者として、次号への投稿を検討していただきたい。

いまから世界を幸せにするひとをここで待っている。

編集幹事 Chief Editor

**木原 民雄** KIHARA Tamio

デジタルハリウッド大学 教授 大学院 研究科長  
Digital Hollywood University, Professor, Dean of the Graduate School